

ふらべじ

Flower & Vegetable

Vol.24 2005
9.30
秋 桜 の 号

発行 北海道立 花・野菜技術センター



キャベツ

Brassica oleracea L. var. capitata L.

結球性のキャベツはヨーロッパで発達し、日本には江戸時代初期に渡来しましたが、野菜として利用されるようになったのは明治になってからです。もともと冷涼な気候を好むために北海道・東北地方で栽培が開始されましたが、現在では全国各地で作付けされています。

北海道には札幌大球（全写真）と呼ばれる非常に大きなキャベツもあり、地域伝統野菜として一部で栽培されています。

ご あ い さ つ

場長 青山 俊夫

「ふらべじ」～秋桜の号～をお届けします。

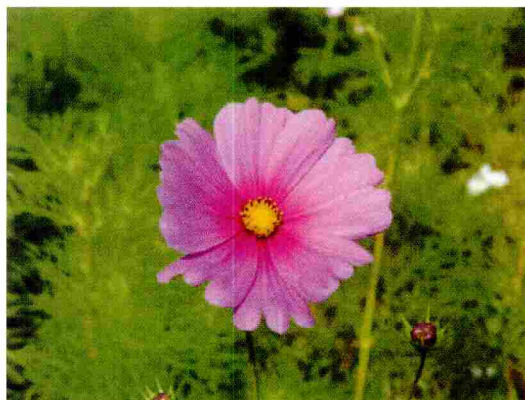
九月となり、今年も残すところ三ヶ月あまりとなりました。黄金色に染まった稲穂をコンバインが刈り取っていく様子が、秋の深まりを実感させます。

最初に季語から。『秋桜』＝『コスモス』は秋の季語ですが、最近のコスモスは夏から咲く品種も多くなっていますので、季語と季節感がやや揺らぐこともあります。

『コスモスが揺れ蝶が揺れ空が揺れ』秋桜歳時記から前山百年さんの句ですが、夏のような秋のような、『コスモスの小径いそぎぬ逢ひたくて』同じく飯泉たつ子さんの句ですが、なんとではなく秋。

次に花言葉。『コスモス』の花言葉は『調和・乙女心・純潔』などで、草姿や花姿を言い表しているのでしょうか、また、コスモス(秩序・調和)はギリシャ語源で宇宙ですが、整った花の姿から、この壮大な名前を頂いたのでしょう。

『コスモス』は、メキシコ高原が原産地とされているキク科の植物で、生物多様性の概念が確立する前に世界中に広まった、いわば帰化植物ですが、すでに日本の秋には欠かせない花となった感じがします。花・野菜技術センターが在する滝川市(滝川市・赤平市に跨って在しています)の花は『コスモス』で、深まりゆく秋を彩って野を飾っています。



平成17年度の主な研究課題*

花き科

- ・花ゆりの新品種育成
- ・デルフィニウムの新品種育成
- ・秋切りデルフィニウムの品質向上対策
- ・トルコギキョウの秋切り作型における品質向上対策
- ・バラの夏秋期高品質生産技術の確立
- ・道央水田地帯における秋出荷花壇苗の生産技術

園芸環境科

- ・道産野菜における硝酸塩の実態と低減指針の策定
- ・ブロッコリーの機能性向上技術の開発
- ・アミノ酸からみた道産野菜機能性解明調査
- ・グリーンアスパラガスの多収維持管理法

技術普及部

- ・たまねぎコスト削減生産技術の組み立てと実証
- ・りんどうの栽培法改善による産地支援
- ・地域の食文化を支援する地方野菜の特性調査
- ・貯雪冷熱エネルギーを用いた花き栽培技術の実証

野菜科

- ・クリーン・省力栽培に適したメロン新品種育成
- ・かぼちゃの有機栽培における生産安定化
- ・トマトセル成型苗直接定植による省力栽培技術の確立
- ・グリーンアスパラガスの品種特性と多収維持管理法
- ・スイートコーンの品種特性

病虫科

- ・ラークスパー芯止まり症の多発要因の解明と防除対策
- ・グリーンアスパラガス立茎栽培における病害虫管理技術の開発
- ・トマト細菌病の診断法開発と発生に対応した防除対策の確立
- ・ハウス野菜の病害虫に対する生物農薬の適応性検定

* 共同研究課題に関しては代表する科のみを記してあります

公開デー 2005

花・野菜技術センター、植物遺伝資源センター、畜産試験場滝川試験地共催の公開デーが8月28日に開催されました。本年は当センター開設10周年にあたることもあり、ばれいしょとスイートコーンの収穫体験やバイオ技術実験などの新しい催し物が企画されました。当日は好天にも恵まれ、500名の方々に足をはこんでいただきました。



△ばれいしょの収穫体験
見て！！土の中にたくさんあったよ。



△スイートコーンの収穫体験
甘くて美味しいコーンは見つかったかな？



△バイオ技術実験
こんなに簡単にDNAが取り出せるの？



△押し花教室
押し花を使ったしおり作りに挑戦中。



△リース作り教室
ドライフラワーを利用して作ります。



△病虫害診断コーナー
原因は特定できましたか？



△貴重な遺伝資源の展示
遺伝資源センターからの出展です。



△子豚とのふれあいコーナー
畜産試験場滝川試験地から来てくれました。



△農業機械展示
多種多様な機械がずらり！



△花の鉢上げ体験コーナー
毎年大人気のコーナーです。



△野菜の苗当てクイズ
30種類の苗を用意しました。



△新技術フィールドセミナー
新技術の説明を行いました。

各種品評会の実施



△花ゆりの求評会
(7月29日)

当センターでは花ゆりの新品種育成を行っており、毎年、育成系統の求評会を開催しています。市場関係者、生産者の皆さんに評価・意見をいただきながら「新品種候補」が選ばれます。



△ほうれんそう・こまつなの原種審査会
(7月22日)

(社)日本種苗協会主催の第56回全日本そ菜原種審査会が開催されました。同審査会は毎年全国各地で色々な野菜についてコンクールを開催しており、本年、当センターではほうれんそうとこまつなが審査されました。

平成17年度 北海道花き・野菜技術研修



△研修生の皆さん

当センターには道立農業試験場で唯一「研修部門」が設置されており、毎年、北海道花き・野菜技術研修を実施しています。

本研修は、高度な専門技術を有する生産者や技術指導者の養成を目的とする専門技術研修と花き・野菜の基礎的な栽培技術から実践的な技術まで学ぶことができる総合技術研修の2コースにわかれており、本年は専門技術研修生3名(花き1名、野菜2名)、総合技術研修生11名(花き2名、野菜9名)が新規就農または専門技術者を目指し、日夜、農作物との対話に挑戦しています。

研修生の作業風景・研修視察などに関しては、当センターホームページ「研修Now」に随時掲載しております。

ホームページ随時新情報更新中!!

www.agri.pref.hokkaido.jp/hanayasai/index.html

北海道立 花・野菜技術センター

〒073-0026 北海道滝川市東滝川735番地

Tel. 0125-28-2800

FAX. 0125-28-2165 (総務部)

FAX. 0125-28-2299 (研究部、技術普及部)

E-mail hana_yasai@agri.pref.hokkaido.jp